阿品台中学校　学校だより

学校教育目標　「自信と誇りを持ち，夢と意欲あふれる生徒の育成」

令和元年7月19日（金）No. 8

第一学期終業式

7月19日（金）平成から令和に代わる，新たな時代の幕開けから早3ヶ月が過ぎ，第一学期の終業式を迎えました。352名の生徒は，始業式・入学式・体育祭や日々の学校生活を挨拶・清掃・ボランティア・学び合いのマイスター制度によって，自律し主体的に学び・成長できる阿中の伝統をさらに継承・発展させてくれました。

一学期の校内の中で，みんなが知らない中でも様々な気遣いや行動がありました。変化に気づくことのできる感性と，ありがたい（有ることは難しいことなのだ）という感謝の気持ちが重なり響きあうような学校で生活できたことは幸せの限りです。夏季休業中に充実した生活を送り，心も体もさらに成長させて，二学期を充実させていきたいものです。そのためには，まずは事件・事故等に巻き込まれない安全第一です。

7月7日の七夕の日に向けて，図書室に上る階段の踊り場に掲示されていた七夕飾りを目にしたことと思います。読書推進員の鎌田先生によれば，改修工事も近いので7月に入って飾り付けをしない予定でいたら，図書委員長さんが飾りを自宅で作って持ってきてくれたそうである。7月8日（月）に発行された図書だより第2号も図書委員長としての委員会活動の一環です。

以前，5月8日の廿日市市「命の大切さを考える日」に発行した学校だよりにも書きましたが，その人の時間は，その人の命です。この飾り，図書だよりや保健だよりを作る時間・花に水をやる時間・あいさつ運動やボランティアに参加する時間などなど，命（＝時間）を自分だけのために使うのではなく，誰かの幸せや喜びのためや，与えられた仕事を責任をもって全うすることは，大人になっても大切なことです。

色々なことに気づいて，「ありがとう」をたくさん言える人に，さらに，たくさんの人から「ありがとう」を言ってもらえる人に，阿中で生活していたら自然とそうなるような気がします。

あいさつの質を高める　阿中生徒　あいさつマイスターとしての自覚と責任を！

あいさつマイスターの多くいる本校であれば，あいさつの質は更なる高みが目指せると思います。目的＝「なぜあいさつをするのか?」，内容＝「あいさつをすることはどういうことなのか」，方法＝「どのようなあいさつが適切なのか」を考えながら，自身のあいさつを省みて，自分の生き方にも通じるような，人との出会いを大切にできる高いコミュニケーション能力を身に付けて欲しいと願います。

毎朝，正門に立っていると一人の男子高校生が自転車で通りかかります。その男子生徒は，学校の前の横断歩道に差し掛かると一旦停止して横断歩道を渡る生徒を確認して，中学生が通るまで待ってくれます。

歩道を中学生が数人歩いていれば，車道に出て中学生が怖い思いをしないようにと気遣ってくれます。

その人には，いつも「ありがとう」「気をつけて行ってらっしゃい」と声をかけます。それは，あいさつで感謝の気持ちを伝えたいことと，事故にあわないようにと安全を願う気持ちも重なります。でも，変に声をかけたら危険なときは，相手が無理にあいさつを返さなくてもよい方法は無いものかと悩みます。

あいさつは，相手を思う始まりだとも思います。「思いやりの心」をあいさつに代えて届けてみませんか?

廿日市市青少年育成市民大会

7月14日（日）に，はつかいち文化ホールウッドワンさくらぴあ大ホールにおいて市民大会が開催され，本校吹奏楽部が「SEDONA」と「アイデア」の2曲を演奏させていただきました。「アイデア」では1年生のダンスなどで会場を盛り上げました。演奏だけでなく，他校の発表前に舞台セッティングを行い，楽器の運搬だけでなく，演奏者に配慮した譜面台の高さや椅子の位置や向きにまで気を配っていました。

広島県中学校選手権大会

○　ソフトテニス

初日の団体戦では，広島市立福木中学校と対戦し，2番手は勝利したものの，1－2で敗退しました。二日目は，個人戦が行われ，田中君・江浦君ペアは初戦で惜敗しました。この大会で対戦した試合経験を次の秋季大会で生かして，県総合体育大会に出場を果たし，自分たちの実力を出し切ってください。

○　陸上競技

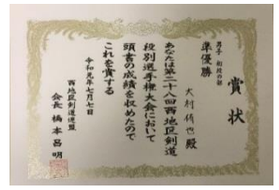
初日の共通男子800mでは，黒瀬君と森山君が自身のベストタイムに近い記録でした。共通男子走幅跳でも黒瀬君，1年男子1500mでは岡島君，2日目の2年女子100mに渡邉さんが出場しました。残念ながら全ての種目で決勝に進むことはできませんでしたが，雨でコンディションの悪い中，これまで練習してきた成果を発揮しました。4人だけでなく，秋季大会で入賞し，県総体により多くの選手で出場できるよう陸上部員同士で切磋琢磨してください。

○　水泳競泳の部

第1学年の3名が，20日（土）・21日（日）に福山市ビックローズで開催される大会に出場します。大会結果は，2学期に入ってお知らせします。3人のベストタイム更新と，入賞を果たして中国大会への出場を祈っています。

第28回西地区剣道段別選手権大会

男子初段の部　準優勝　大村侑也



AC（Ajina(dai)　Clean）活動

阿品台中学校の中学2年生と，阿品台西小学校，阿品台東小学校の小学6年生の児童生徒が，地域の見守り隊の方々ともいっしょに，阿品台西小学校周辺の清掃活動を行う活動です。3校の小中学生が小中合同の小グループごとに小学生・中学生が輪をつくり，担当の先生や地域の方とともに，自己紹介と打ち合わせを行いました。中学生がリーダーとして小学生とともに協力し合い，中学生のリーダー性を育てると共に，異学年間や地域の方との交流をとおしてコミュニケーション力の育成を図ることも目的として実施しました。

一人で悩まないで…

学校は，必ず解決に向けて取り組みます。

・・・いじめの相談窓口・・・
柳川先生，松岡先生，八川教頭先生

・・体罰・セクシャルハラスメント相談窓口・・
八川教頭先生，秋本先生，柳川先生
永山先生，吉屋先生，田浦先生

～40 周年を前に～

校章　PTA 広報『白亜』　校歌　のいわれ

創立１０周年記念誌より

初代校長　樋口澄雄　　「　**阿品台中学校開校の頃**　」

昭和 56 年4月１日に着任し，初めて見る“ 白亜 ”の校舎は，南に日本三景の一つである宮島，東には広島湾を眼下に望み輝く太陽の下に聳え，如何にも新しい中学校に相応しく目をみはる程でした。

４月６日には，開校式・始業式・入学式を済ませて，生徒数 462 名・12 学級による学校生活がスタートされたものでした。

阿品台中学校を象徴するものとして校旗・校章・校歌・制服等がありますが，それらは素晴らしい阿品台中学校と，そこで学生徒の限りない成長発展を祈念して制定されたものです。

施設・設備等についても様々な面で苦心がありました。中でも広い運動場の整地は，生徒と教師が幾日も汗を流したものです。　（一部抜粋）

校章のいわれ

Ａの表わす意味は，AJINADAI の頭文字“ Ａ”で，全体のイメージは阿品の“ 品 ”という字を型どっています。

三つのＡは，一年，二年，三年生が協力，助け合いながら，学校生活を有意義に過ごしていくことを意味します。

背景は，瀬戸内海の白く輝く波と，そこから昇り光り輝く太陽を表わし，その波，太陽の如く，力強く，若々しく育ち，恵まれた環境のもとに，中学生らしく健全な成長をしていくことを願っており，マーク全体の形は，“ 中 ”を中心に限りなく未来に向かって発展，向上していく形を型どっています。

PTA 広報誌『白亜』のいわれ

阿品台周辺は，白亜紀末期から第３紀初頭（約七千万年前）の火山活動により，生成した黒雲母花崗岩（広島型花崗岩）が基岩として広く分布した地である。

瀬戸内海にそびゆる阿品台中学校は「白亜の塔」として象徴され，たくましい吾子たちが新しい校章のもと学んでいます。昭和 56 年9月 PTA が発足しました。

果てしない波から波へと，会員相互の人間関係を深め，子どもの成長を見守りながら，益々発展向上していく姿を，白亜紀の太古をしのび，阿品台中学校ＰＴＡ新聞のタイトルとして表わしました。

尚，瀬戸内の波は，保護者「山根　昭八」さんの図案が採用されました。

校歌のいわれ

「うちうみの風さわやかに・・・・・」作詞を終え，三階の渡り廊下より見た瀬戸の海は，まさにそんな感じでした。開校当時の国語科の３名の先生方によって校歌の作成にあたられました。

各番のテーマを一番，心身の健康。二番，豊かな情操と知性。三番，自主性，実践。と決め，イメージを拡大展開し半年かかって作詞されました。

曲は，音楽科の２名の先生により作曲され，生徒や保護者の願いが一つの校歌として生まれたのです。（校歌制定委員会より）

スマホ・ケータイ安全教室

講師　株式会社ドコモＣＳ中国
スマホ･ケータイ安全教室　インストラクター　吉田亮子　様

７月 10 日（水）に，スマホ･ケータイ安全教室を開催しました。講師の吉田インストラクターから，具体的な事例を映像をとおして，分かりやすく説明を受けました。今日のお話を実際の場面で思い出し，自分や友達を守るための情報管理の知識や，文字等の画面上だけで誤った判断しないための多角的なものの見方・考え方等を身に付け，情報社会を安全に豊かに生きましょう。

廿日市警察署員の方々からも，皆さんが一生懸命聞いている姿が本当に素晴らしかったと興奮しながらほめてくださいました。

講話の中で話された確認事項をドコモの教材から抜粋しました。誰でも失敗することはある。相手が誤解しないように丁寧に伝える。しっかり話してみる。自分の失敗は反省して繰り返さない。完璧な人などこの世にはいない。友達の不十分さを思いやることも大切だと話されました。

スマホやケータイを使うときに 覚えておいてほしいこと

1. **今日の話はすべて あなたの身におこる恐れがあります。**
2. **『自分ごと』として考え、正しく、上手に使っていきましょう。**
3. **困ったとき、あなたの近くに心配してくれる人は必ずいます。絶対に１人で悩まないでください。何かあったら、友達同士で解決しようとせず保護者や学校の先生に相談しましょう。**

SNSで気をつけること ①

- SNSを利用開始するときは公開範囲を確認しましょう。
- 情報を発信・公開する時は、個人を特定するヒントになるものがないか確認しましょう。
- 友達と写真や動画を撮った際には、互いに勝手に公開しないようにしましょう。

SNSで気をつけること ②

- インターネットで知り合った相手を安易に信用しないようにしましょう。
- 自分の判断で勝手に会いに行かないようにしましょう。
- 自撮り写真を送ったり、個人情報を教えないようにしましょう。

SNSで気をつけること ③

- 一度ネットで炎上してしまうと、将来に影響する恐れがあるので投稿内容には注意しましょう。
- イタズラでも犯行予告などは犯罪です。絶対に書き込まないようにしましょう。
- インターネットは匿名ではありません。責任ある書き込みをしましょう。

コミュニケーションアプリで気をつけること

- 文字だけのやりとりでは、本当の気持ちが伝わりにくいものです。きちんと伝わるように心がけましょう。
- 誤解からケンカやいじめに発展することもあります。メッセージを送る前には、一度読み返しましょう。
- 相手にも都合があることを考えて、早く返信がくることを期待したり、求めたりしないようにしましょう。
- 文字だけのやりとりに頼りすぎず会って話すことも大切にしましょう。

使いすぎに気をつけること

- １日に自由に使える時間は意外と少ないことを覚えておきましょう。
- スマホなどを使いすぎて睡眠時間や勉強時間を削ってはいけません。
- やりとりが続いてやめ時が分からない場合があります。友達とルールを作り、時間を決めて使いましょう。

スマホ・ケータイと正しくつきあうために